第２回五島市水道事業経営検討委員会　会議録

１．開催日時　令和８年９月１６日（水）　午後１時２０分より

２．開催場所　五島市役所３階Ｂ会議室

3. 諮問
　出口市長から祢宜委員長へ諮問書を手交

4. 議題　水道料金のあり方について
　・別添資料により説明

　質疑応答

[委員]メーターの取替は市が負担するのか
[水道局]市で取替を行う。メーターは使用料を徴収しており、市が使用者へ貸し出していると考えていただければ良い。

[委員]給水管の修理の負担は使用者なのか市なのか。
[水道局]給水管は市の財産ではなく、使用者の財産であるため本来使用者の負担となる。ただし、（使用料がかからない場合の漏水など）使用者による修理が進まないことで無駄な水を送ることになるため、簡易な修理であれば、水道局で行っている。大がかりな修理が必要な場合は所有者負担としている。

[委員]一般家庭が使用する口径は、ほぼ 13ｍｍということだが、20ｍｍ以上の口径になるとどういったところが使用されているのか。
[水道局]事業所や学校関係、市の施設など大きな施設になるかと思う。

[委員]企業債残高対給水収益比率は、目標設定が 350％以下となっている。現在値が 396％なので 400％を超えていくと経営としてまずい状態という意味なのか。
[水道局]この数値は借金の比率で、借金が増えるということは利息が大きくなり支出が増える。利息による支出を抑えるという意味で 350％以下の目標設定としている。
[委員]料金回収率というのは、料金を払わない者がいることで率が下がるということなのか。
[水道局]料金収入で費用が賄えているかどうかという率で、使用者が料金を納めているかどうかの収納率ではない。

[委員]
・経費の節減という話がないようだが。
・市から経営戦略からの財政シミュレーションで説明があっているが、まだ現状認識・理解が正しくできていない。
・今後老朽化していく管路を自主財源で改修していくための料金改定という理解でよいのか。料金改定しない場合と料金改定例 25～40%それぞれのパターンでの収支の資料があると議論がしやすいのでは。
・直近 2～3 年程度の決算資料があった方が良い。
[水道局]次回の資料としたい。

[委員]今後の管路更新の費用、また、事業に係る自己負担がどれくらいかわかるような資料は。
[水道局]長期的な計画で事業費を 3 億 7 千万で平準化しており、今回の資料の資本収支の中で掲載している。また自己財源のみで事業実施は不可能であるので国の補助金を活用しながら実施する計画としている。

[委員]改良工事で国の補助金は 2 分の 1 という説明だったと思うが、資料の資本的収支では国の補助金が 3 分の 1 となっているのはなぜか
[水道局]国の補助金の対象外の事業もあるため、改良事業の 3 分の 1 程度で算定をしている。

[委員]給水人口の推計によりシミュレーションをしていると思うが、もしこのシミュレーションより給水人口が減らなかった場合はどのように考えているのか。
[水道局]今回改定をしたとしても数年後にまた検討を行う必要があるので、その際に審議していきたい。

１０．閉会時刻　午後３時００分